

授業マネジメントシート

小学校第 6 学年（学年）

外国語（教科・領域）

○学校目標（目指す児童生徒の姿）：

○単元名 We Can!2 Unit4 I like my town.

○単元の目標

各自で確認すること。（別のところに記載されていれば、ここに再度記入する必要はない）

○単元の評価規準

・振り返りのタイミングとその方法を記入する欄を設定
 ・適切なタイミング（評価の計画の際、節目を意識する）で意図的に振り返りを行う

| 時 | 目標◆・活動○・☆振り返り | ◆評価方法 | | | 備考 ◆（評価・授業改善等） |
|--------------|--|--|-----------------------------|--|--|
| | | 知技 | 思判表 | 態度 | |
| 1 | ◆様々な施設などの言い方や、地域にある施設、ない施設について表す表現について理解する。 ○Small Talk：指導者の話（住んでいる地域の好きな場所や施設とその理由について写真等を見せながら話す）から単元ゴールへの見通しをもつ。 ○Let's Talk：自分たちの地域にあるもの、ないものについて話す。 ☆単元の目標（ゴール）を確認する。 | | | 全体に声をかけて単元の目標が明確にイメージできたか確認する。シートのなりたい自分の欄に記入。 | 児童生徒が振り返りに書いたことや取組の様子から捉えたことを（事実を照らして）記入する。 ⇒次の授業に生かしていけるものとなるように。 |
| 2 | ◆地域にある施設やない施設について、話すことができる。 ○What's this?クイズ：提示した施設の写真の一部を見て何かを答え、施設等の言い方を思い出す。 ○ペアで街の様子をヒントとして交互に伝え合い、相手が選んだ街を考えて答える。 | 写真を見ながら地域にある施設・ない施設について言うことができるか。 | | ペアでの活動の様子を観察し、個別支援をする。 | ・活動に時間がとられてしまい、まとめの時間を十分にとることができなかった。全体の様子から教師が言っていることはおおよそ理解できているが、今後ポスターを書く活動ではじっくりと時間をかける必要がある。 本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。 |
| 3 | ◆自分たちが住む地域の良いところなどについて、自分の考えや気持ちを話すことができる。 ○Small Talk：自分の街の好きなところについて話しているのを聞き地域の良さを表現する方法を理解する。 ○Let's Talk：指導者のモデルややりとりを聞いたことを参考に、ペアで地域の良さを話す。 | | 自分の街の好きな所を既習の語句を使って表現しているか。 | 自分の街の好きな所を既習の語句を使って表現しようとしているか。 | ・ペアでの練習の際、教えあう姿が多くみられた。学習ペアが生きていると感じた一方、Aペア、Bペアは活動が停滞することが多く、個別支援が必要。 |
| 4 | ◆自分たちが住む地域について、相手に伝わるように、地域への願いなどについて、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。 ○Small Talk：欲しい施設とその理由 ○Let's Talk：指導者のモデルや代表児童とのやりとりを参考にペアで地域に欲しい施設とその理由について話す。 ☆振り返りシートに中間まとめをする。「中間発表を終えてみて、工夫した点や努力の必要な点を書きましょう」 | 地域に欲しい施設とその理由についてペアで話している様子（正確さ）【やりとり】 | | 行動観察 振り返りシート（工夫した点や努力の必要な所） | ・児童が話している様子の観察から、評価の記録を残し、第7時の評価の記録とともに後日行うパフォーマンス評価に加味する。 ・書くことを苦手とする児童が4割程度いるので自宅課題を数パターン用意し、配付する。 |
| 5・6 | ◆自分たちが住む地域について、相手に伝わるように、地域への願いなどについて、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを書くことができる。 ○教科書のミニポスターやこれまでに書きためたワークシートを参考にして誰かが読むことを意識してオリジナルミニポスターを作成する。 | | 読み手・聞き手を意識して工夫しているか。 | | ・第5時でbに至っていないと判断した児童を優先して観察し、改善が見られた場合は記録に修正を加える。 |
| 7 ヤマ 場 | ◆自分たちが住む地域について、相手に伝わるように、地域への願いなどについて、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。 ○オリジナルミニポスターを使いながら、2～3組のペアで互いに発表し、アドバイスをし合う。 ☆「発表を終えて、工夫した点やもっと頑張りたいことを書きましょう」「誰のどんなところがよいと思いましたか」 | | 発表の様子から読み手・聞き手を意識して工夫しているか。 | 発表の様子から相手に伝わるように工夫して話そうとしている。 | ・ペアによる発表、相互評価後の振り返りに「自分では気づかなかった部分を友達にほめられてうれしい」「〇〇さんの言い方が聞きやすかったから真似してみようと思った」など自己肯定感の高まり、学びの調整につながる様子が見られた。 |
| 8 | ◆自分たちが住む地域についてよりよく理解するために、地域の良さや願いも含めて友達の書いた文を読んで意味が分かる。 ○友達のミニポスターを読み合い、分かったことをワークシートに書く。 ☆「自分の住む地域についてわかったこと、良さや願いを書きましょう」 | ワークシートの記述から読んだ内容を正確に理解できたか。 | | 自分の住む地域についてわかったこと、良さや願いをまとめる（振り返り）。 | ・発表では生き生きとできた子も読む活動には苦手意識を感じている様子である。次の単元では読むことに重点を置いて指導計画を組もうと思う。 |
| 後日 | パフォーマンステスト、ペーパーテスト | | | | 記録に残す評価は単元の後半に位置付けた。（網掛け部分） |

☆単元を終えて

指導と評価の計画が児童生徒の学びや成長に結びついたかという視点で振り返り、記入する。記録を残していき、教代会や学年会、学校全体で共有し、授業改善に生かす。